

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科日本の伝統と文化 科目 囲碁

教科 科：日本の伝統と文化 科 目：囲碁 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 組～ 組

教科担当者 （ 1 2 3 4 5 組：外部指導員 ）

使用教科書 （ なし ）

教科 日本の伝統と文化 の目標：

【知識及び技能】 伝統的文化に接し、実際にその技能を学びとる。

【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの技能の歴史や背景を考察しそれを基づき再現、行動できる。

【学びに向かう力、人間性等】 礼儀作法の大切さやお互いに学び合う姿勢を学ぶ。

科目 囲碁 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本の伝統的な技能を身近で感じとる。日本の伝統的な技能を実際に行う。	日本の伝統的な技能を実際に行うことでそれぞれの技能に基づく歴史や背景を考察し細やかな日本文化について考察する。	礼儀作法を身に付け日本人の民族性やお互いに学び合う姿勢を学ぶ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	○囲碁の起源・歴史 ○ルールと一般的な定石 ○礼儀作法 ○対局と礼儀作法の実践	○囲碁の起源と歴史を調査研究する ○基本的なルールと囲碁版、碁石の使用法と管理の仕方について学ぶ ○対局開始、対局中、対局後の礼儀作法を身に付けるまた、そこに反映している日本人の民族性と日本文化を考察する	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 について総合的に判断し、評価する。	○	○	○	24
2 学 期	○さまざまな「布石」 ○布石に基づく「定石」 ○「格言」 「大局観」 ○勝敗	○基本的な「布石」について実践する ○「布石」に基づき「定石」について学習し、理解する ○「格言」の理解と使用方法について学習し、理解を深める ○「勝敗」の決め方、そこに至るまでの過程の深さと奥行について考察する	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 について総合的に判断し、評価する。	○	○	○	28
3 学 期	○上達法「大局観」 ○囲碁の魅力	○囲碁の世界観、大局観等を考察することにより、自分の実力を向上させる ○今後も趣味として囲碁を楽しむように棋譜の見方や環境を作ることにについて考えさせる	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 について総合的に判断し、評価する。	○	○	○	18
							合計 70